

言語教育とジェンダー

火曜日・第1ターム・3限

担当 佐藤響子

概要：社会言語学>ジェンダーと言語

言語を取り巻く様々な要因（政治、経済、文化、話し手の属性）と言語との関連性を扱う学問である社会言語学の中からジェンダーにかかわる事柄を扱います。とくに、教育（学生としてはもちろん、教師として、親として）に関わる者として知っておくべきジェンダーと言語にかかわる諸問題を考察することを目的とします。

授業計画(予定)：

1. はじめに
2. 教育現場におけるジェンダー問題を言語的視点から考察する意義を考える
(Jule pp.47-55)
3. ジェンダー・セクシュアリティ問題と言語の不可分な関係性 (Talbot Chapter 2)
4. <正しく><美しく>話すというイデオロギー：社会言語学的調査概観
5. <ことば>と<女ことば>：初期の言語とジェンダー研究概観 (Talbot Chapter 3)
6. ナラティブ（語るという行為）から見えてくること(Talbot Chapter 4)
7. 家庭での親子間の会話と言語運用能力との関連性 (Talbot Chapter 4)
8. <男らしさ><女らしさ>と会話の運び方の関連性 (Talbot Chapter 5)
9. メディアが明示的・非明示的に伝えていること

授業： 講義

評価： コメントカード 50点+レポート 50点

参考文献： Mary Talbot (2010) *Language and Gender 2nd Ed.*

Allyson Jule (2008) *A Beginner's Guide to Language and Gender*

Email: ksatoh@yokohama-cu.ac.jp

Homepage: <http://kyokosatoh.jimdo.com/> (トップ>言語教育とジェンダー)(pw)

データ出典

内閣府『男女共同参画白書』平成28年度版

参考文献

Spolsky, B. (1998). *Sociolinguistics*. Oxford University Press.